【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】令和3年2月25日(2021.2.25)

【公開番号】特開2020-142550(P2020-142550A)
【公開日】令和2年9月10日(2020.9.10)
【年通号数】公開・登録公報2020-037
【出願番号】特願2019-38454(P2019-38454)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｈ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｈ　1/00　１０２Ｊ
Ｂ６０Ｈ　1/00　１０２Ｋ
Ｂ６０Ｈ　1/00　１０２Ｐ

【手続補正書】
【提出日】令和3年1月11日(2021.1.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
温度調整された空調空気が内部を流通する空調ケース（１０）と、
前記空調ケースに設けられ、空調空気を車室内に吹き出すための複数の開口部（３０、３１、３２、３３）と、
前記空調ケースの内部に設けられ、前記複数の開口部のうち空調空気を吹き出す開口部が異なる複数の吹出モードを切り替える吹出モード切替部材（３６）と、
前記空調ケースと前記吹出モード切替部材との間において、空調空気を前記空調ケース内の所定部位から特定の前記開口部に案内するバイパス通路（１６）と、
を備え、
前記バイパス通路は、前記吹出モード切替部材が前記複数の吹出モードのうち特定の吹出モードに切り替えた場合に形成され、
前記空調ケースおよび前記吹出モード切替部材には、互いに対向するように突出したリブ（１１ｂ、３６ｄ）がそれぞれ設けられており、
前記吹出モード切替部材が前記特定の吹出モードに対応する位置にある場合に、前記吹出モード切替部材のリブ（３６ｄ）と前記空調ケースのリブ（１１ｂ）によって前記バイパス通路が形成される車両用空調装置。
【請求項２】
前記吹出モード切替部材は、回転軸（３６ａ）を中心に回動することで、前記吹出モードを切り替えるロータリドアである請求項１に記載の車両用空調装置。
【請求項３】
前記特定の吹出モードは、空調空気を車室内の乗員の足下に吹き出すフットモードである請求項１または２に記載の車両用空調装置。
【請求項４】
前記特定の吹出モードは、空調空気を車室内のフロントウィンドに向けて空調風を吹き出すデフロスタモードである請求項１または２に記載の車両用空調装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記目的を達成するため、請求項１に記載の発明は、空調ケース１０と、複数の開口部３０、３１、３２、３３と、吹出モード切替部材３６と、バイパス通路１６とを備える。空調ケースは、内部を温度調整された空調空気が流通する。複数の開口部は、空調ケースに設けられており、空調空気を車室内に吹き出す。吹出モード切替部材は、空調ケースの内部に設けられており、複数の開口部のうち空調空気を吹き出す開口部が異なる複数の吹出モードを切り替える。バイパス通路は、空調ケースと吹出モード切替部材との間において、空調空気を空調ケース内の所定部位から特定の開口部に案内する。バイパス通路は、吹出モード切替部材が複数の吹出モードのうち特定の吹出モードに切り替えた場合に形成される。空調ケースおよび吹出モード切替部材には、互いに対向するように突出したリブ（１１ｂ、３６ｄ）がそれぞれ設けられている。吹出モード切替部材が特定の吹出モードに対応する位置にある場合に、吹出モード切替部材のリブ（３６ｄ）と空調ケースのリブ（１１ｂ）によってバイパス通路が形成される。